

看護部の教育体制

【目指す看護・介護職員像】

- 1-1 赤十字事業および救護活動の実践者として社会に貢献でき、赤十字の理念である人道を具現化できる
- 1-2 赤十字の基本原則に基づいて意思決定し、人間の尊厳を確保するために活動できる
- 1-3 高い倫理観をもち、自ら豊かな人間性を育てていくことができる
- 1-4 地域社会の多様なニーズに応えられる幅広い知識・技術のもと、安心・安全な医療サービスを提供できる
- 1-5 社会の変化に対応し、赤十字の看護・介護職員として地域と協働・連携できる
- 1-6 専門職業人として主体的に取り組む精神をもち、自己の能力開発に取り組むことができる
- 1-7 グローバルな視点を持ち、施設内ならびに地域の健康問題に取り組むことができる

【教育理念】

- 2-1 赤十字の基本原則に基づき、高い倫理観を持って人道を具現化し行動できる看護・介護実践者を育成する。
- 2-2 自ら主体的にキャリアを開発し、先見性と創造性を持った専門職業人を育成する。

>下伊那赤十字病院看護部では、看護・介護職員がその役割を果たすために、一人ひとりの能力開発を目指し継続教育を行っています。

看護・介護職が実践において自律的であり、患者・利用者擁護に依拠した意思決定を自ら行い、その結果について責任をもつことができる人材を育成することを教育理念の基盤としています。

【教育目標】

- 3-1 赤十字の理念を理解し、人道の具現化と赤十字の使命である救護活動ができる能力の習得と赤十字事業の推進者として社会貢献できる人材を育成する。
- 3-2 人道の理念を基盤とした高い倫理観と、人々の生活・健康の質を高めるために看護・介護専門職として必要な知識・技術を習得し、科学的な根拠に基づいた看護・介護実践ができる人材を育成する。
- 3-3 良質で安全な医療を提供するため、基本的なコミュニケーション技術を身に付け、医療チームの一員として役割を発揮し、多職種と協働できる人材を育成する。
- 3-4 質の高い看護・介護実践に向けて、生涯にわたり自律して自己研鑽できる人材を育成する。
- 3-5 自施設のある地域を理解し、個人・集団の健康と安全を守るための行動がとれる人材を育成する。

【新人看護職員および中途採用者の指導体制】

『チーム支援型チューターシップ』

♡みんなで育て、一緒に育つ♡

新人看護職員教育指導体制は「チーム支援型チューターシップ」で実施しています。

この指導・教育体制は「みんなで育て、一緒に育つ」ことをスローガンに、この体制でのチームのメンバーは「サポーター」と呼んでいます。新人さん一人に対してチューターと実地指導者がつき、3人で1つのグループを組みます。

